

県央水戸アグリ情報

令和3年度 第1報
(令和3年7月30日発行)

発行：県央農林事務所経営・普及部門
(水戸地域農業改良普及センター)
水戸地方農業改良推進協議会
Tel 029-227-1521
Fax 029-225-0955

茨城県農業参入等支援センター事業の紹介

県では、茨城県農業参入等支援センターを設置して、法人化や規模拡大により①経営発展を目指す農業経営者、②第三者への経営継承を考えている方、③農業への参入を希望する企業等を対象として、関係機関との仲介や各種支援制度の紹介、専門家からなる支援チームの派遣など相談内容に応じて支援をしております。当部門でも伴走支援を行っています。

関心のある方は当部門か農業参入支援センターにお問い合わせください。

●茨城県農業参入等支援センターの問い合わせ先
茨城県農林水産部農業経営課内 ☎029-301-3844

活用事例①

水戸市 (株)AOKI FARM

(株)AOKI FARMは、従業員の雇用をきっかけに農業参入等支援センター事業を活用しました。従業員が安心して働ける職場を目指し、労務管理について重点的に支援を受け、令和2年7月に法人設立に至りました。また、経営分析をきっかけに経営上の課題を明確にすることができ、新たな目標に向かって取り組みを始めています。



活用事例②

那珂市 (株)綿引農園

(株)綿引農園は、別経営となっていた親子の経営統合及び法人化を目的に、令和元年度から農業参入等支援センター事業を利用し、経営分析や労務管理、人材確保、法人登録(司法書士)に関する支援を受け法人化への準備を進めてきました。令和3年4月に法人化し、新たなスタートを切ることができました。



管内の三士認定状況と新規認定者について

管内では、令和2年度に農業経営士2名、女性農業士3名、青年農業士5名が退任されました。令和3年度に新たに農業経営士2名、女性農業士1名、青年農業士1名が認定され、農業経営士36名、女性農業士12名、青年農業士20名となりました。

県では、地域農業の振興を図るため、優れた農業者や将来の地域農業の担い手となる農業者を農業三士(農業経営士、女性農業士、青年農業士)として認定しています。

農業経営士 2名

女性農業士 1名

青年農業士 1名

農業経営士 大貫 善之氏 (大洗町神山町)



家族中心でイチゴと水稻に取り組んでいます。令和2年度に観光イチゴ園来園者との交流施設を設置して、イチゴのブランド力強化の取り組みが期待されます。

農業経営士 石川 弥来氏 (小美玉市上吉影)



厳選した飼料による、オレンジ色の新鮮な卵を生産しています。県養鶏協会等で役員を歴任し、地域の農業をけん引することが期待されます。

女性農業士 小橋 覚子氏 (茨城町城之内)



家族3名でイチゴを中心とした経営に取り組んでいます。次世代の農業者の育成につながる農業体験や食育活動の取り組みが期待されます。

青年農業士 藤沼 慶祐氏 (大洗町成田町)



水稻とサツマイモを生産しています。水稻は特別栽培、サツマイモは焼き芋やほしほ加工業者、直売への出荷など、需要に応じた栽培の取り組みが期待されます。

トマト 黄化葉巻病・黄化病 にご注意ください!

黄化葉巻病はタバココナジラミが媒介するウイルス病で、感染すると新葉が黄化して葉が巻き、生育が止まり実がつかなくなります。

黄化病はタバココナジラミ、オンシツコナジラミが媒介するウイルス病であり、苦土欠乏症に似た症状で、葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化し、最終的には株全体が黄化して枯れあがります。

これらの病害のまん延を防止するため①罹病株の早期抜き取り、②コナジラミ類の防除、③収穫後のトマトの片付け、④コナジラミ類の発生源となる雑草地の除草を併せて行いましょう。

黄化葉巻病は耐病性品種が利用できるようになりましたが、コナジラミ類の防除を徹底しなかった場合に、黄化病を保毒したコナジラミ類が侵入して黄化病が多発した事例がありますので、黄化葉巻ウイルス耐病性品種を利用する場合でもコナジラミ類の防除対策を徹底してください。



黄化病(葉の病徴)



黄化葉巻病(葉の病徴)

写真提供:茨城県病害虫防除部

サツマイモ 基腐病 の発生 に注意!

サツマイモが本病に感染・発病すると、栽培中、地上部の茎葉は枯死し、地下部のイモは腐敗していきます。また、周囲の健全な株にも病原菌が伝染するため、本病が畑内にまん延し、大きな減収を招きます。

発生すると防除が難しく被害が拡大するおそれがあることから、発生を警戒しています。

また、発生を拡大させないためには早期発見が重要です。茎葉が繁茂すると発病株の発見が困難になるため、茎葉が地上部を覆う前までの期間は特に、

①巻葉や株の萎縮、②葉の変色(赤変・黄変)、③株元の茎の黒変が無い畑をよく観察しましょう。

疑わしい症状が見られたら、至急、当部門に連絡をお願いします。

農業後継者クラブに 加入しませんか



農業後継者クラブに加入すると、様々な品目を栽培する地域の若手農家と交流を深められ、日々の作業だけでは得られない情報や刺激を得ることができます。

管内ではこれらの農業後継者クラブが活動しています。

クラブ名	会員数
ひたちなか市農業後継者クラブ	20名
那珂市農業後継者クラブ	11名
水戸市農業後継者クラブ	12名
茨城町4Hクラブ	11名
小美玉農業青年クラブ	13名

各クラブは、イベントでの農産物直売等の消費者交流、自らの農業経営上の課題を解決するプロジェクト活動に取り組んでいます。興味のある方は、当部門まで是非お問い合わせください。

農薬の安全使用を 徹底しましょう

今年は管内で農薬使用のトラブルが相次いで発生しています。農薬を使用する際は、以下の点に気を付けてください。

1 農薬散布の 事前周知

実施日時、農薬の種類、使用者の連絡先を、隣接ほ場の管理者や周辺住民へ事前に知らせておきましょう。

2 農薬散布時の 飛散防止対策

風の弱い時間帯、周辺作物等に影響の少ない風向きの時を選び、飛散低減ノズルを使って散布しましょう。

3 周辺への 影響防止

土壌くん蒸剤使用時は、速やかに被覆しましょう。水田で農薬を使用する際には、1週間程度は落水やかけ流しを避けましょう。

4 農薬登録内容の 遵守と確認

農薬ラベルに記載された使用方法・注意事項を守り、農薬の使用記録をつけましょう。

県立農大学生募集案内



茨城県立農業大学校では、令和4年度4月入学生を募集中です。農業の基本から先進技術まで学習し、実践力を養います。入試の詳細は、下記までお問い合わせください。

【茨城県立農業大学校】

☎029-292-0010

区分	学科名	募集人員
学 科	農学科	40名
	畜産学科	10名
	園芸学科	30名
研究科		10名